

## H28 県基礎学力調査及び、全国学力・学習状況調査の結果から

### ①全国・県平均との比較

【国語・数学】全国・県平均との比較（A・・・基本的な力を問う問題、B・・・活用力（応用力）を問う問題）

【社会・理科・英語】県平均との比較（県独自の調査で全国との比較はありません）

	国語A	国語B	数学A	数学B	社会	理科	英語
全国との比較	○	◎	◎	◎			
県との比較	○	○	○	○	○	○	◎

※凡例    ◎上回っている                      ○少し上回っている                      □ほぼ同じである  
                   ▽少し下回っている                      ▼下回っている

### ②各教科の分析・対策

#### 【国語】

##### 【正答率が低かった問題】

「資料を活用するときの留意点を説明したものを適切に選ぶ」「話し合いを踏まえた発言として適切なものを選ぶ」問題。

「文脈に即して正しい漢字を書く」問題。

「漢和辞典の使い方を理解して、正しい意味を選択する」問題。

##### 【改善策】

○漢字練習の継続に加え、熟語における漢字の意味を捉える。また、慣用句や敬語などの学習を行い、社会生活で使える語彙を増やす。

○資料から得られる情報を整理して把握する。そして、資料が複数の場合はその特徴の違いを捉えたり、複数の資料を結び付けて考えたりできるようにする。

○長文を読むことに慣れ、文章の構成や展開を考えながら読むようにする。説明文を要約する活動や、物語の主題を書く活動を取り入れる。

#### 【数学】

##### 【正答率が低かった問題】

「グラフの傾きを事象に即して解釈することができる」問題。

「対称移動した図形を描くことができる」問題。

「自然数の意味」「垂線の作図」「反比例の関係の事象を選ぶ」「近似値と誤差の意味」などの問題。

##### 【改善策】

○比例・反比例や1次関数についてはそれらの意味を理解しながら振り返りをさせる。また、グラフの読み取りなどは視覚的な面でとらえさせながら復習を繰り返す。

○「関数」「式による説明」等の苦手分野は、繰り返し復習させながら定着させる。

○グループ学習の時間を使って、各自の思考がより深まり、自分の考えを書いたり説明したりすることができるような場面設定を工夫する。

【理科】 無解答率が県を大きく下回り、解答に対する意欲は高かった。また、学年別では1年で学習した内容の正答率が低く、定着が充分ではないことがわかる。2年生で学習した内容の正答率は大部分が県を上回っていた。

【正答率が低かった問題】

- 凝灰岩の層と過去の火山の噴火の関係を問う問題。
- 凸レンズや焦点についての理解を問う問題。
- アサガオを暗室に置いた理由を問う問題。

【改善策】

- 1年生の学習内容の定着がうすれている面が見られるので、ベル学などの時間を利用して基本事項の総復習に取り組ませる。
- 授業でも、1年生の学習内容についての復習の機会を増やす。
- 定期テストにおいて、読解力や活用力を問う問題を多く取り入れるようにする。

【社会】 どの観点も、県平均を上回っているが、「資料活用の技能」と「思考・判断・表現」が最も大きく上回っている。

【正答率が低かった問題】

- 「本初子午線の位置」「ヨーロッパの国々の経済統合」を進める理由を書く問題。
- 「公地公民」の原則が崩れていく過程について説明する問題。
- 「国風文化」と、平安時代から江戸時代までの、歴史的な事柄を古いものから並び替える問題。

【改善策】

- 「ベル学習」として、既習事項を繰り返すドリル形式の学習を取り入れたり、毎時間、授業の最初に前時の復習を入れたりして、工夫して復習する時間を設定していく。
- 男女混合4人グループによる「学び合い学習」を組み入れる場面を工夫していく。
- 用語のみ断片的、表面的に理解している生徒もいるので、既得知識との関連を図り、納得できる授業や印象に残る授業を展開する。また、補習等で、略年表で歴史の流れを大掴みできる手だてを工夫する。
- 事実と思考とを区別し、根拠に基づく推論を鍛える場面設定を増やしていく。

【英語】 全領域で県平均を上回っている。「言語や文化についての知識・理解」が特に良い。「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」と「表現の能力」の正答率も高い。「理解の能力」が最も県平均に近いが、例年よりも良い結果となっている。

【正答率が低かった問題】

- 〔聞くこと〕 ・「帰宅時間」を聞き取る問題。
- 〔書くこと〕 ・初歩的な英語を用いて書く英作文問題。

【改善策】

- 授業で使用する英語の量をさらに増やし、また、教科書本文の内容理解をリスニングのみで行い、「リスニングの能力」や「理解の能力」の更なる向上を図る。
- 単元でまとまった時間を取り、連続した授業で「書く力」の向上を図る。
- 教科書以外の英文の使用を増やし、「読む力」の向上を図る。
- 放課後学習を活用して、1・2年時に学習した範囲の定着を図る。